



## みんなが輝いた「合唱コンクール」

3年4組が考えてくれたテーマ「閃光～We shine on our stage～」のもと、美術部の皆さんが作ってくれた壮大な壁画の前で開催された「合唱コンクール」。久しぶりに、全校生徒が一堂に会してのコンクールになりました。感染対策の一環として、保護者の方は人数制限をさせていただき、学年ごとに入れ替わっていただきましたが、聞いてくださった皆さんの心に残る合唱を披露することができたと思っています。

最優秀賞を獲得した3年2組の皆さん、優秀賞を獲得した1年4組、2年1組、3年4組の皆さん、おめでとうございます。心を揺さぶる歌声で、多くの人を魅了してくれました。心から、拍手を送ります。また、残念ながらあと一步及ばず、賞には届かなかったクラスも、私を知る限りでは、すべてのクラスが、本番での合唱が、それまでで一番よかったと思います。このことが、すばらしい！最後まで、自分たちの合唱を少しでもよくしようとする努力の成果でしたね。

また、早くから練習に取り組み、本番でもプレッシャーと戦いながら頑張ってくれた指揮者・伴奏者の皆さん、お疲れ様でした。人知れず努力を積み重ねた皆さんに、心から敬意を表します。そして、日頃の練習をリードしてくれたパートリーダーの皆さん、ありがとうございました。担任の先生方は、皆さんの存在が、とても心強かったと思います。よく頑張れましたね。

さて、皆さんは、合唱コンクールの取り組みを通じて、何を学びましたか？例えば、高校入試の面接で、「あなたが中学校時代に一番印象に残っている活動は何ですか？」という質問があったとして、それに対する答えに「合唱コンクール」を取り上げるとしたら、何を話しますか？そこに、皆さんの取り組みの価値があるのです。「合唱コンクールなのだから、練習して合唱がうまくなって、賞を獲得できたらそれでいい。」では、ないのです。ある人は、みんなで力を合わせて同じ目標に向かって努力することに価値を見いだすかもしれません。ある人は、友だちと意見が合わなくて衝突することがあったけれど、話し合ってお互いに理解し合っただけで練習に取り組めたことに価値を見いだすかもしれません。何を学んだかは、人によって違うでしょうし、同じである必要はありません。大切なのは、自分が学んだことを自覚すること、意識すること、そして、それを別の場面でも生かすことです。そうすることで、成長があるのです。

コンクールの後、ある男子が、「自分たちらしい合唱ができたから、満足や。」と言っていたのが、とても印象的でした。勝ち負けを超越したところに喜びを見だし、満足感を得られたことに成長を感じ、とてもうれしくなりました。



## お礼とお祝い！

- 先日の合唱コンクールには、多くの方がお越しく下さり、ありがとうございました。保護者の皆様にお聞きいただき、生徒たちも張り切って歌うことができたと思います。また、当日は、人数制限や駐車場への出入りなどに対し、ご理解、ご協力を頂戴し、重ねてお礼申し上げます。
- 新型コロナウイルスに関するマスクの着用について、最近の厚生労働省からのガイドラインを整理させていただきます（裏面参照）。「屋外」は原則マスクは不要。ただし、2m程度の距離が保てない状態で会話する場合はマスク着用。「屋内」は原則マスク着用。ただし、2m以上の距離が保てて会話をほとんどしない場合は、着用の必要なし。また、徒歩や自転車での登下校時、体育や運動部の活動中も原則着用の必要はないとされています。ただし、不安がある場合にマスクを着用することを妨げるものではありません。また、登下校時でも友だちとおしゃべりをするような場合、体育や運動部活動でも運動をしていない時は、マスクを着用してください。